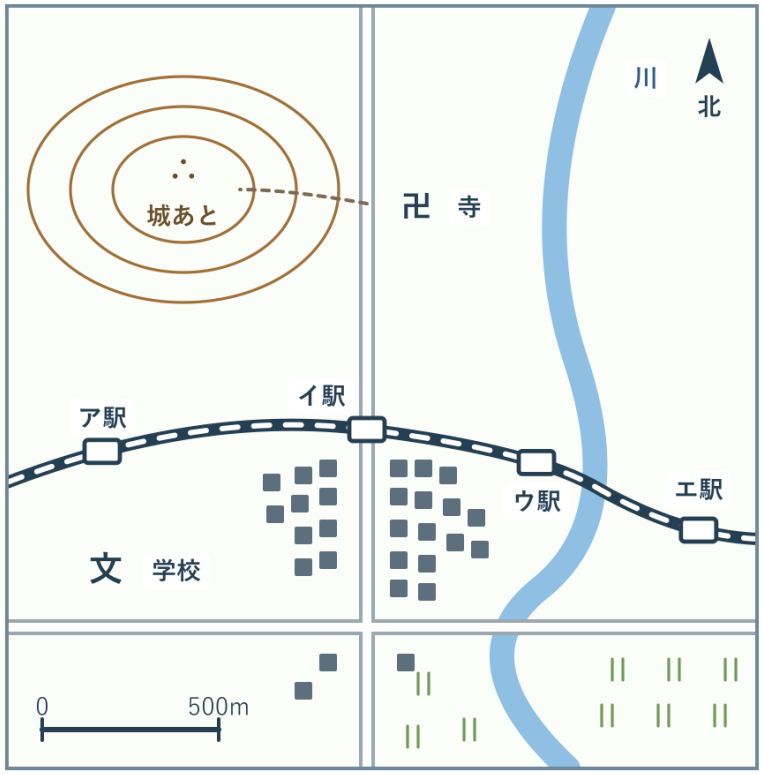
同じ町でも目的で変わる地図（一般図と主題図）

同じ町の地図なのに、路線図・観光案内図・ハザードマップでは、なぜ描き方が違うのか

一般図（架空の町）：縮尺どおりに広く描く



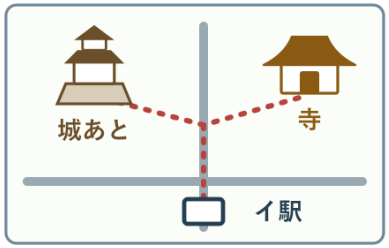
① 鉄道の路線図



目的：乗る駅・降りる駅と順番を知る

- 残す：駅の名前と順番、つながり
- 省く：駅の間の距離、線路の曲がり、建物
- 強調：線路と駅（太い線と大きな丸）

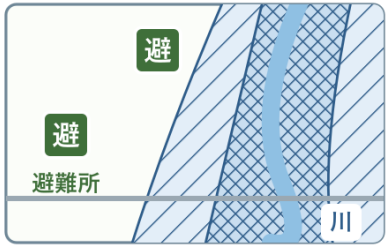
② 観光案内図



目的：見どころを歩いて回る

- 残す：見どころと、そこへ行く道順
- 省く：見どころ以外の建物、細かい道
- 強調：見どころ（絵で大きく描く）

③ ハザードマップ（洪水）



目的：大雨のときに安全に避難する

- 残す：川、土地の低い所、道
- 省く：見どころ、駅の名前など
- 強調：浸水の想定（斜線）、避難所

地図は、目的に合わせて情報を選び（残す・省く）、大切なことを強調している

一般図：地形・道路・建物などを縮尺どおりに描き、いろいろな目的に使う　　主題図：特定の目的のために、テーマをしぼって描く

※ 架空の町の模式図。縮尺・駅・見どころ・浸水の想定は例で、実在の地図や路線図を表さない。